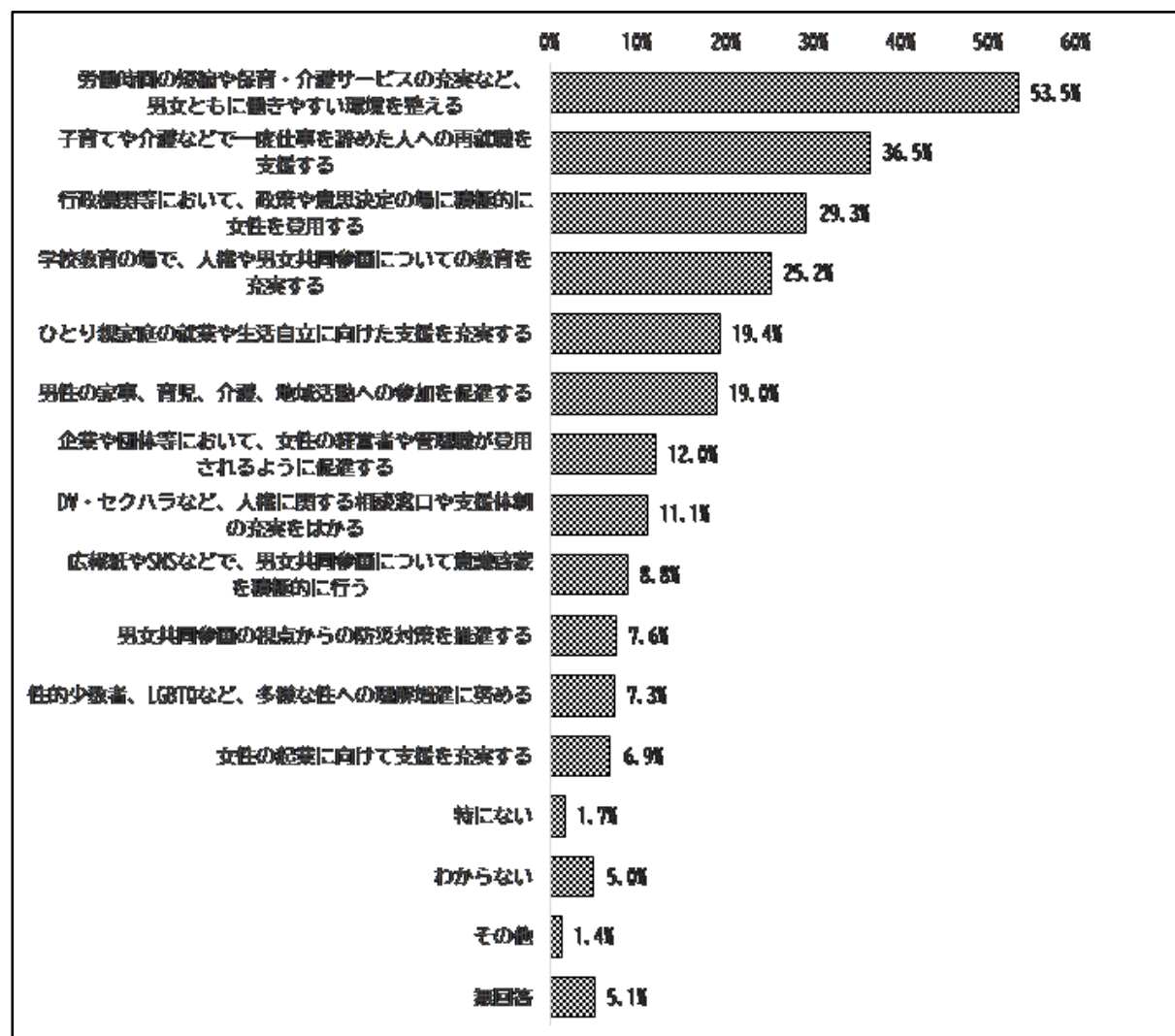


10 男女共同参画に関する施策について

(1) 男女共同参画を進めるために力を入れるべきこと

問 33	男女共同参画を推進するために、福島市は今後どのようなことに力を入れていくべきと思いますか。(複数回答)
------	---

◇全体



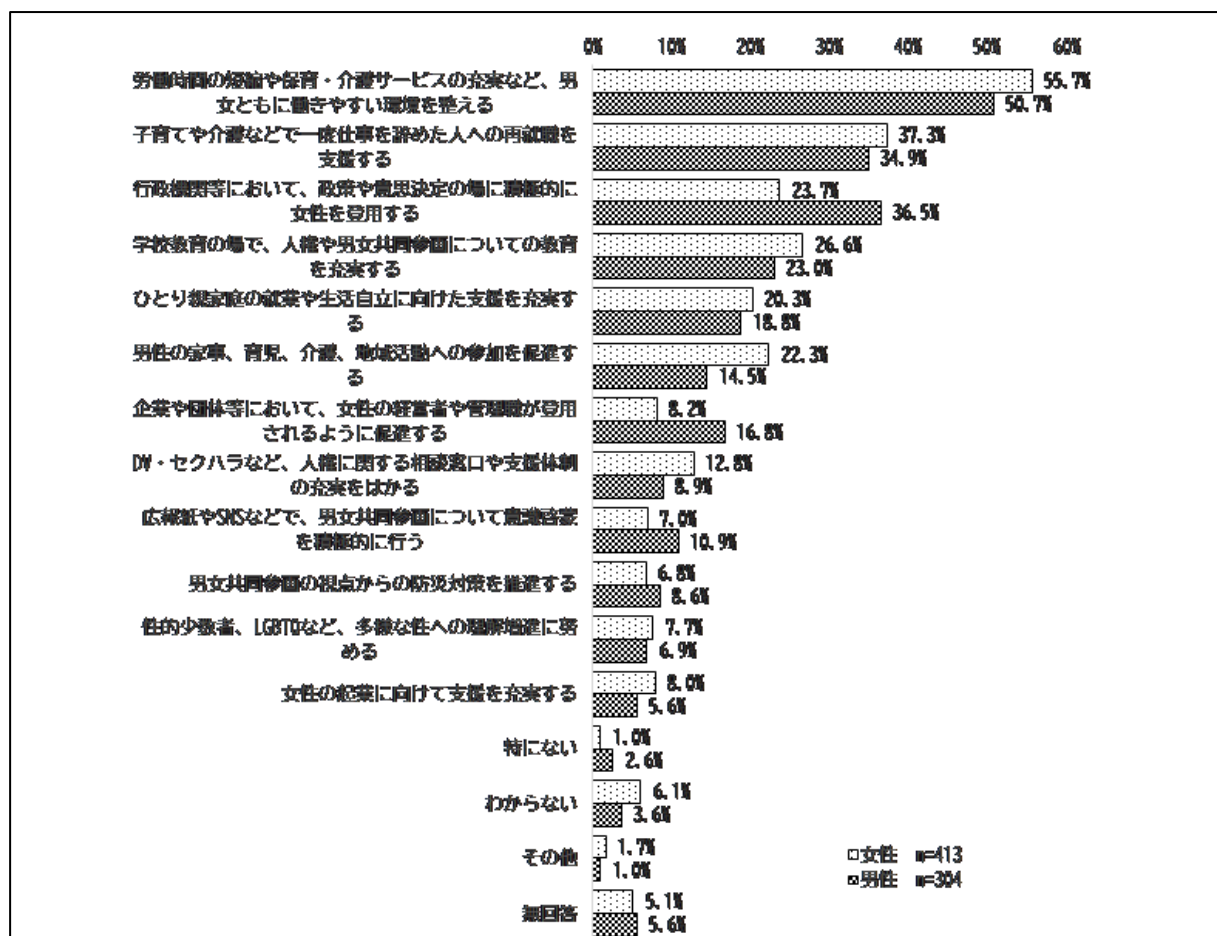
- 「労働時間の短縮や保育・介護サービスの充実など、男女ともに働きやすい環境を整える」(53.5%) が最も高く、次いで「子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する」(36.5%) が続いている。
- 「行政機関等において、政策や意思決定の場に積極的に女性を登用する」(29.3%)、「学校教育の場で、人権や男女共同参画についての教育を充実する」(25.2%) の割合も高い。

◇性別

「労働時間の短縮や保育・介護サービスの充実など、男女ともに働きやすい環境を整える」は、女性（55.7%）が男性（50.7%）を5.0ポイント上回り、「子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する」も、女性（37.3%）が男性（34.9%）を2.4ポイント上回る。

一方、「行政機関等において、政策や意思決定の場に積極的に女性を登用する」では、男性（36.5%）が女性（23.7%）を12.8ポイント上回る。

また、「男性の家事、育児、介護、地域活動への参加を促進する」では、女性（22.3%）が男性（14.5%）を7.8ポイント上回る。



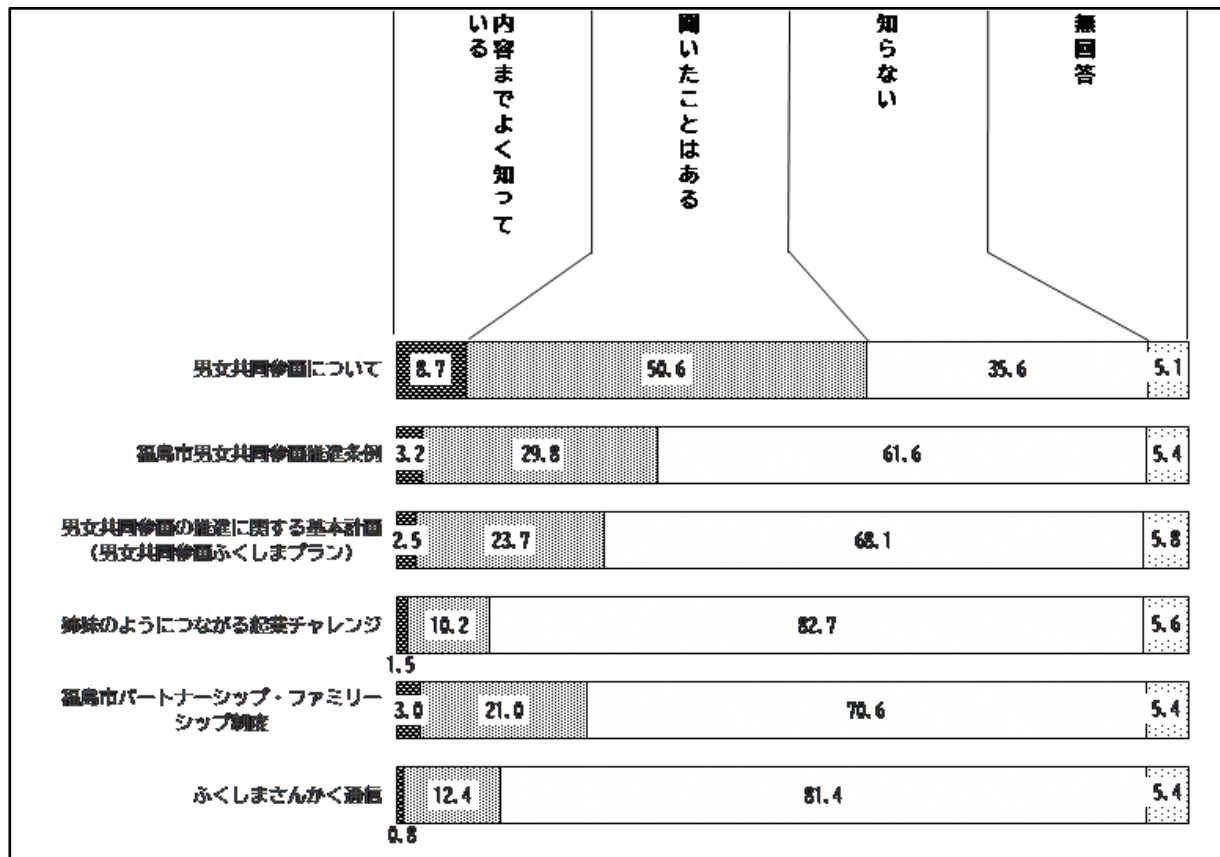
◇年代別

「労働時間の短縮や保育・介護サービスの充実など、男女ともに働きやすい環境を整える」は、10代（62.5%）と50代（62.1%）が6割を超え、20代から40代および60代の割合も約5割台と高く、「子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する」は、20代（40.9%）の割合が高い。

		合計	行政機関等において、政策的に女性を登用する	企業や団体等において、女性の経営者や管理職が登用されるように促進する	労働時間の短縮や保育・介護サービスの充実など、男女ともに働きやすい環境を整える	女性の起業に向けて支援を充実する	子育てや介護などで一度仕事を辞めた人への再就職を支援する	男性の家事、育児、介護、地域活動への参加を促進する	ひとり親家庭の就業や生活自立に向けた支援を充実する	DV・セクハラなど、人権に関する相談窓口や支援体制の充実をはかる	性的少数者、LGBTQなど、多様な制への理解増進に努める	学校教育の場で、人権や男女共同参画についての教育を充実する	男女共同参画の視点からの防災対策を推進する	広報紙やSNSなどで、男女共同参画について意識啓蒙を積極的に行う	特になし	わからない	その他	無回答
全体		727	29.3	12.0	53.5	6.9	36.5	19.0	19.4	11.1	7.3	25.2	7.6	8.8	1.7	5.0	1.4	5.1
年代別	10代	8	25.0	12.5	62.5		37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5		12.5				
	20代	44	11.4	6.8	59.1	13.6	40.9	29.5	15.9	13.6	9.1	20.5	4.5	9.1	2.3	4.5	2.3	
	30代	75	32.0	13.3	57.3	10.7	34.7	26.7	21.3	8.0	9.3	13.3	1.3	2.7	4.0	1.3	4.0	
	40代	121	30.6	18.2	52.1	9.1	38.8	19.0	19.0	11.6	13.2	24.0	6.6	5.0	0.8	4.1	2.5	1.7
	50代	116	25.9	9.5	62.1	6.0	32.8	27.6	16.4	18.1	11.2	25.0	10.3	12.1	1.7	5.2	1.7	2.6
	60代	139	38.1	10.1	57.6	6.5	38.8	11.5	23.7	12.2	5.8	27.3	5.8	5.0		5.8		3.6
	70代以上	216	27.3	11.1	44.4	4.2	34.7	14.4	19.0	6.9	1.9	31.0	10.6	13.0	2.3	6.5	0.5	12.5

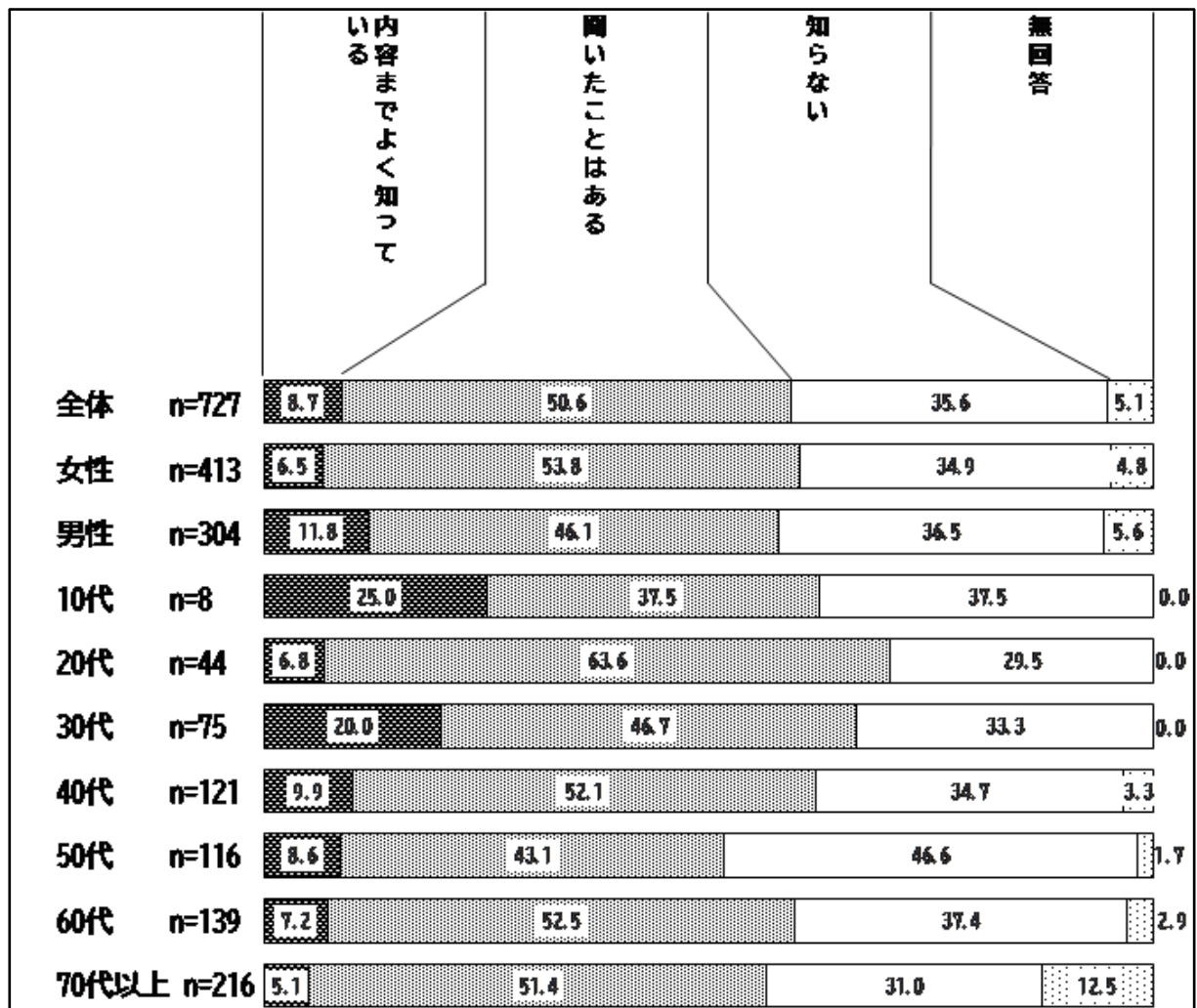
(2) 福島市の男女共同参画推進の取り組みに対する認知度

問 34	あなたは、福島市の男女共同参画推進の取り組みについてご存知ですか。
------	-----------------------------------



- “内容までよく知っている” は、最も多い「男女共同参画について」でも 8.7%である。
- “聞いたことはある” は、「男女共同参画について」(50.6%) で最も高く、以下、「福島市男女共同参画推進条例」(29.8%)、「男女共同参画の推進に関する基本計画(男女共同参画ふくしまプラン)」(23.7%)、「福島市パートナーシップ・ファミリーシップ制度」(21.0%) が 2 割台である。「姉妹のようにつながる起業チャレンジ」、「ふくしまさんかく通信」がそれぞれ 1 割前後である。
- 一方、「知らない」は、「姉妹のようにつながる起業チャレンジ」と「ふくしまさんかく通信」が 8 割以上と高い。

① 男女共同参画について



◇全体

「内容までよく知っている」が8.7%、「聞いたことはある」が50.6%、「知らない」が35.6%である。

◇性別

「内容までよく知っている」と「知らない」はそれぞれ男性が女性の割合を上回り、「聞いたことはある」は女性が男性を上回る。

◇年代別

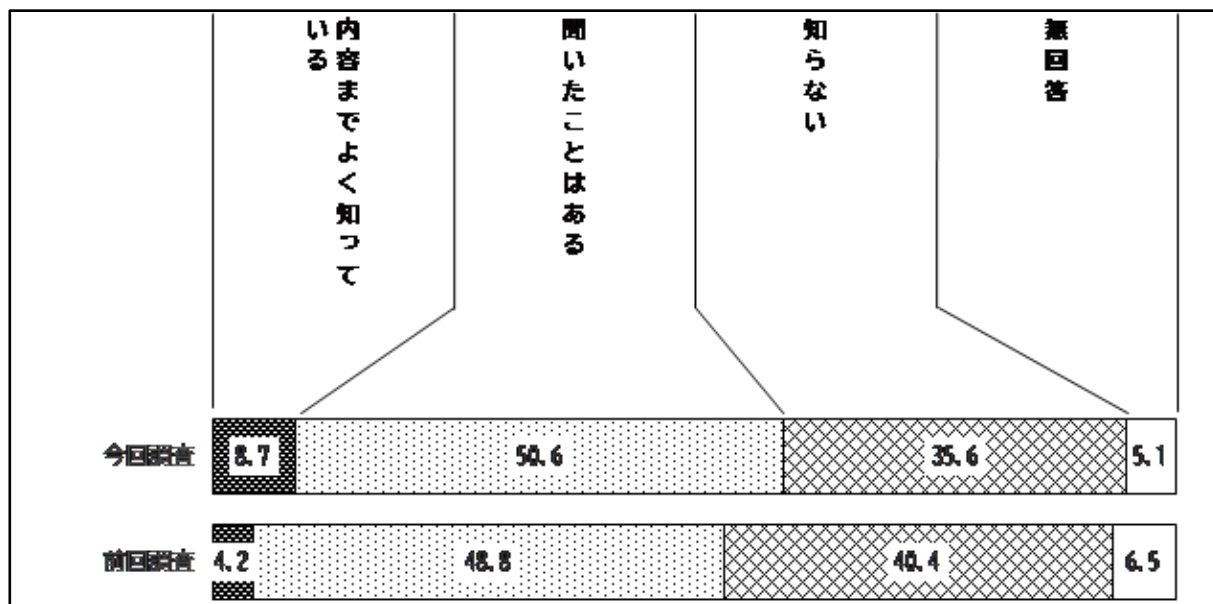
「内容までよく知っている」は、10代（25.0%）で最も高く、次いで30代（20.0%）の割合が高くなっている。また、「聞いたことはある」は、20代（63.6%）をはじめ、60代（52.5%）、40代（52.1%）、70代以上（51.4%）でも過半数を占める。

一方、「知らない」は、50代（46.6%）の割合が高い。

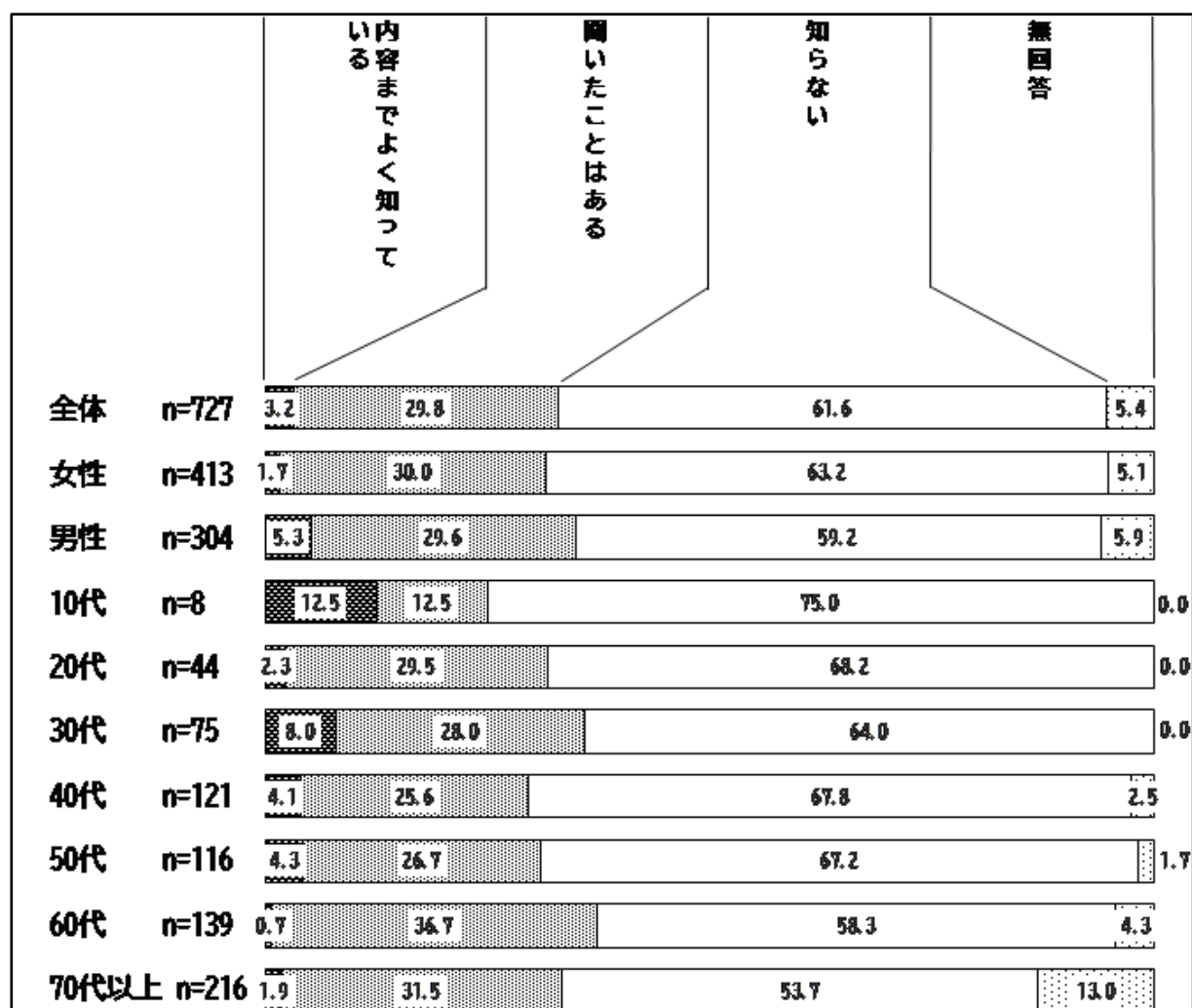
◆前回調査との比較

「内容までよく知っている」の割合は、今回調査が前回調査より 4.5 ポイント、「聞いたことがある」は、前回調査より 1.8 ポイント増加している。

一方、「知らない」は、前回調査から 4.8 ポイント減少している。



② 福島市男女共同参画推進条例



◇全体

「内容までよく知っている」は、3.2%と低く、「聞いたことはある」が29.8%、「知らない」は61.6%である。

◇性別

いずれの場合も、女性と男性の割合はほぼ同じである。

◇年代別

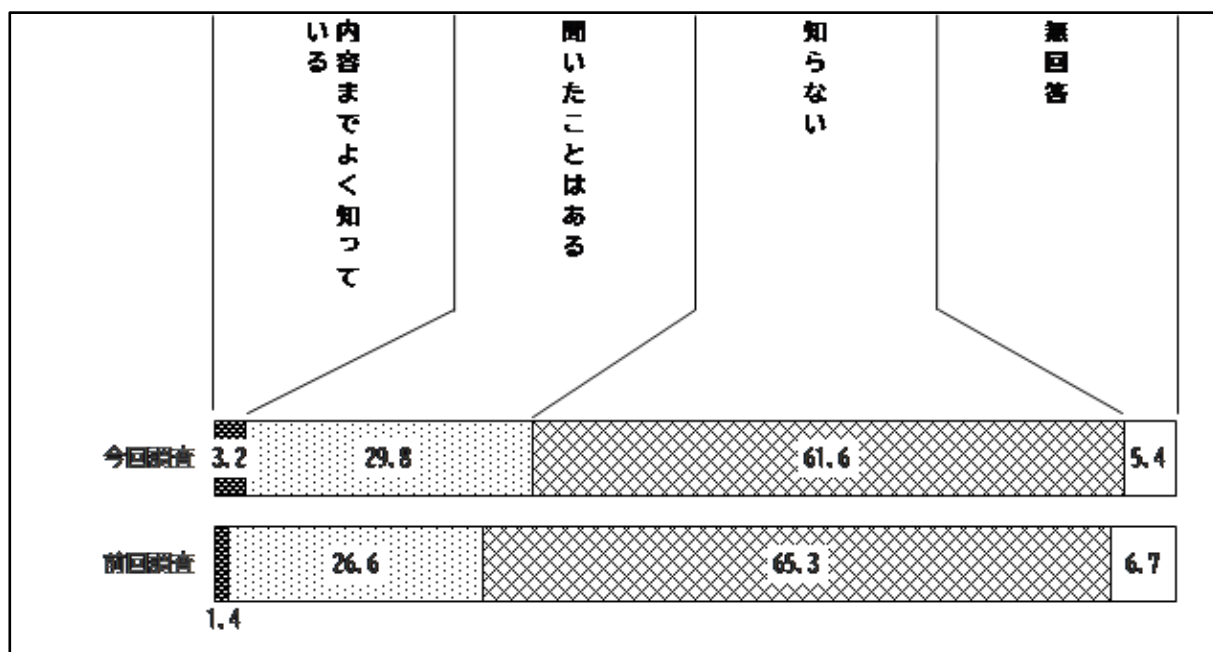
「内容までよく知っている」は、10代（12.5%）を除き1割未満である。また、「聞いたことはある」は、60代（36.7%）をトップに、70代以上（31.5%）、20代（29.5%）、30代（28.0%）が続き、10代（12.5%）が最も低い。

一方、「知らない」は、10代（75.0%）が最も高く、70代以上（53.7%）が最も低い。

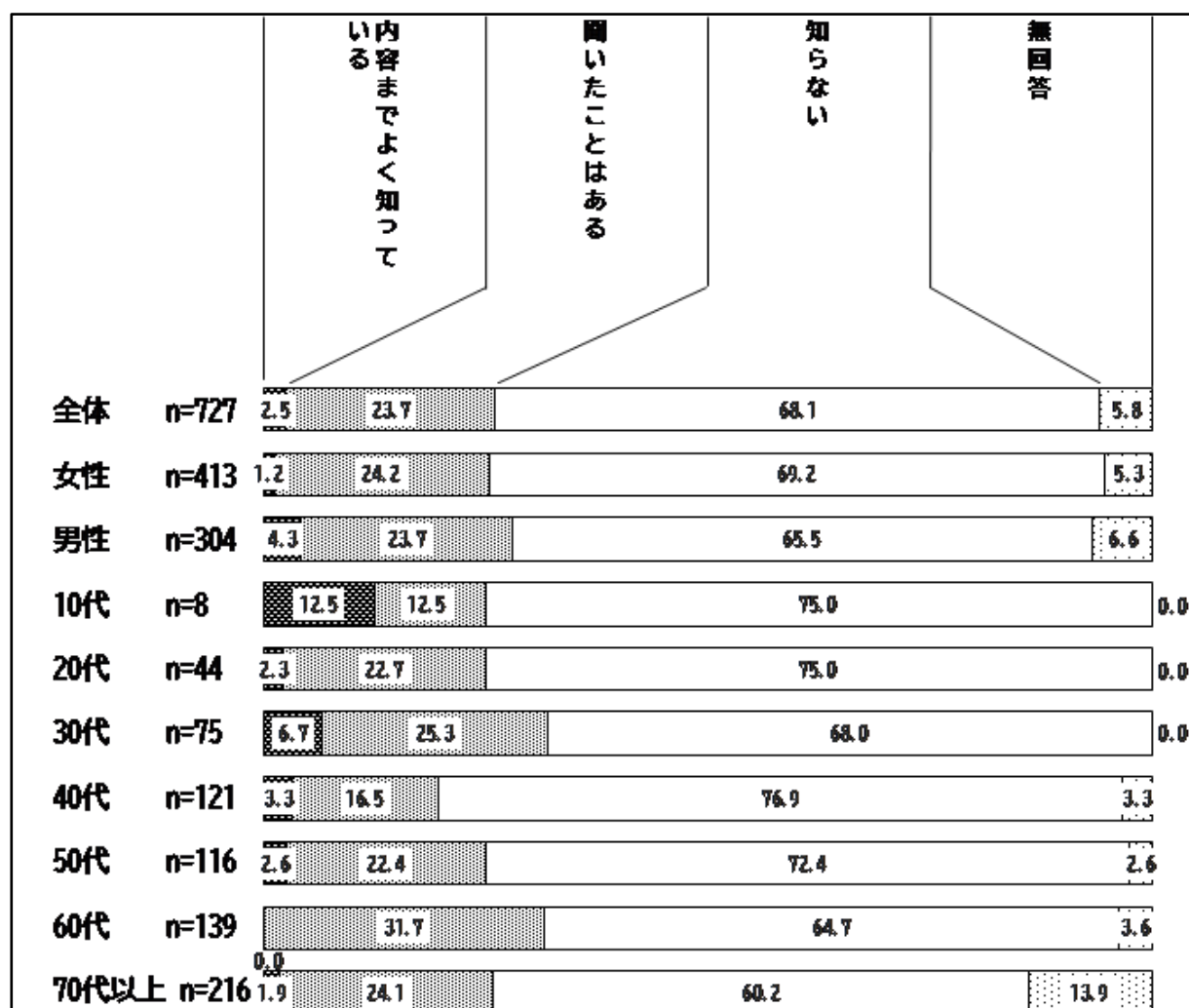
◆前回調査との比較

「内容までよく知っている」の割合は、今回調査が前回調査より 1.8 ポイント増加し、「聞いたことはある」も今回調査の方が 3.2 ポイント増加している。

一方、「知らない」は、前回調査より 3.7 ポイント減少したが、いずれも 6 割を超える。



③ 男女共同参画の推進に関する基本計画（男女共同参画ふくしまプラン）



◇全体

「内容までよく知っている」は、2.5%と低く、「聞いたことはある」が23.7%、「知らない」は68.1%である。

◇性別

いずれの場合も、女性と男性の割合に大きな差はない。

◇年代別

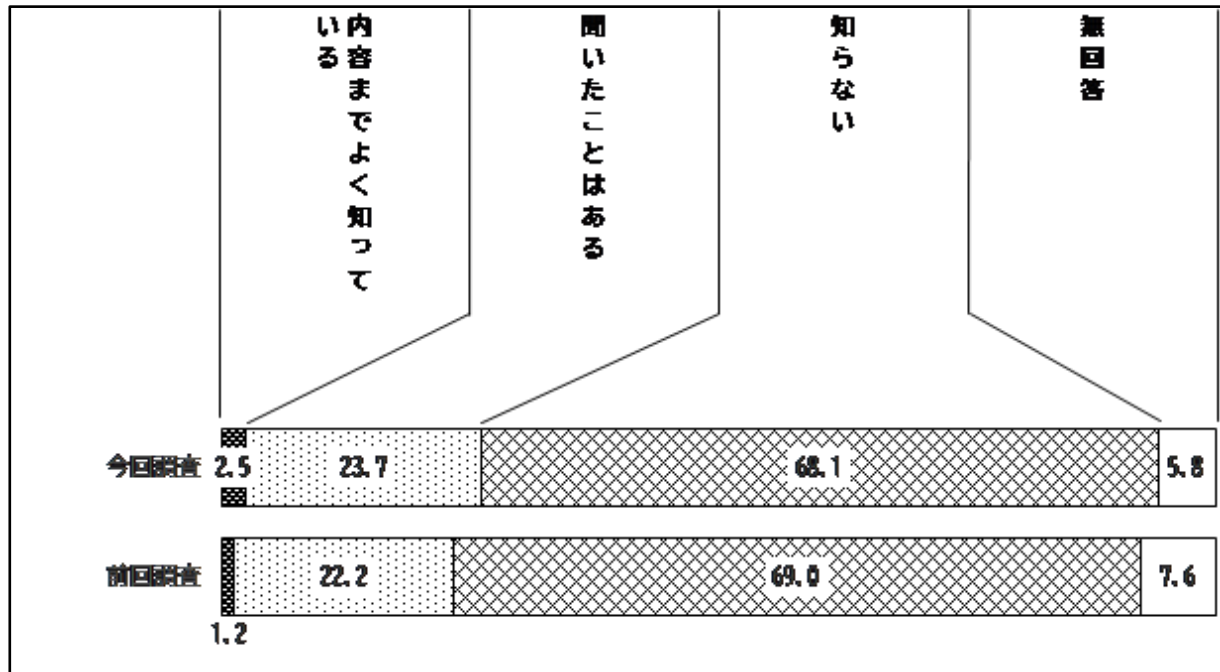
「内容までよく知っている」は、10代（12.5%）を除き、どの年代も1割未満であり、60代ではゼロである。また、「聞いたことはある」は、60代（31.7%）が高く、20代、30代、50代、70代以上も2割台を占めている。

一方、「知らない」は、40代（76.9%）が最も高く、70代以上（60.2%）が最も低い。

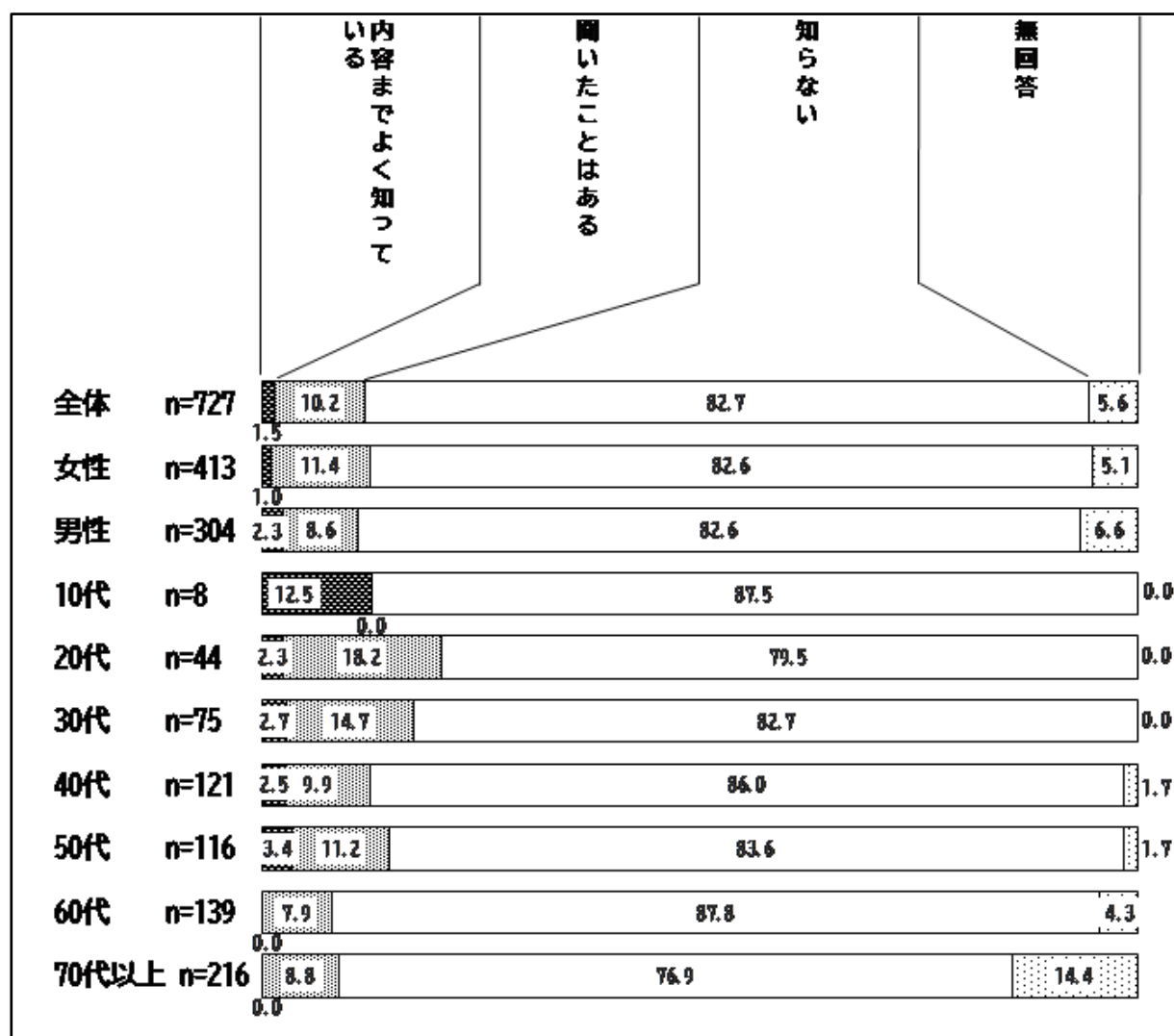
◆前回調査との比較

「内容までよく知っている」の割合は 1.3 ポイント、「聞いたことはある」は、1.5 ポイント、それぞれ前回調査より増加している。

一方、「知らない」は、前回調査より 0.9 ポイント減少しているが、全体の約 7 割と高い。



④ 姉妹のようにつながる起業チャレンジ



◇全体

「内容までよく知っている」は、1.5%と低く、「聞いたことはある」が10.2%、「知らない」は82.7%である。

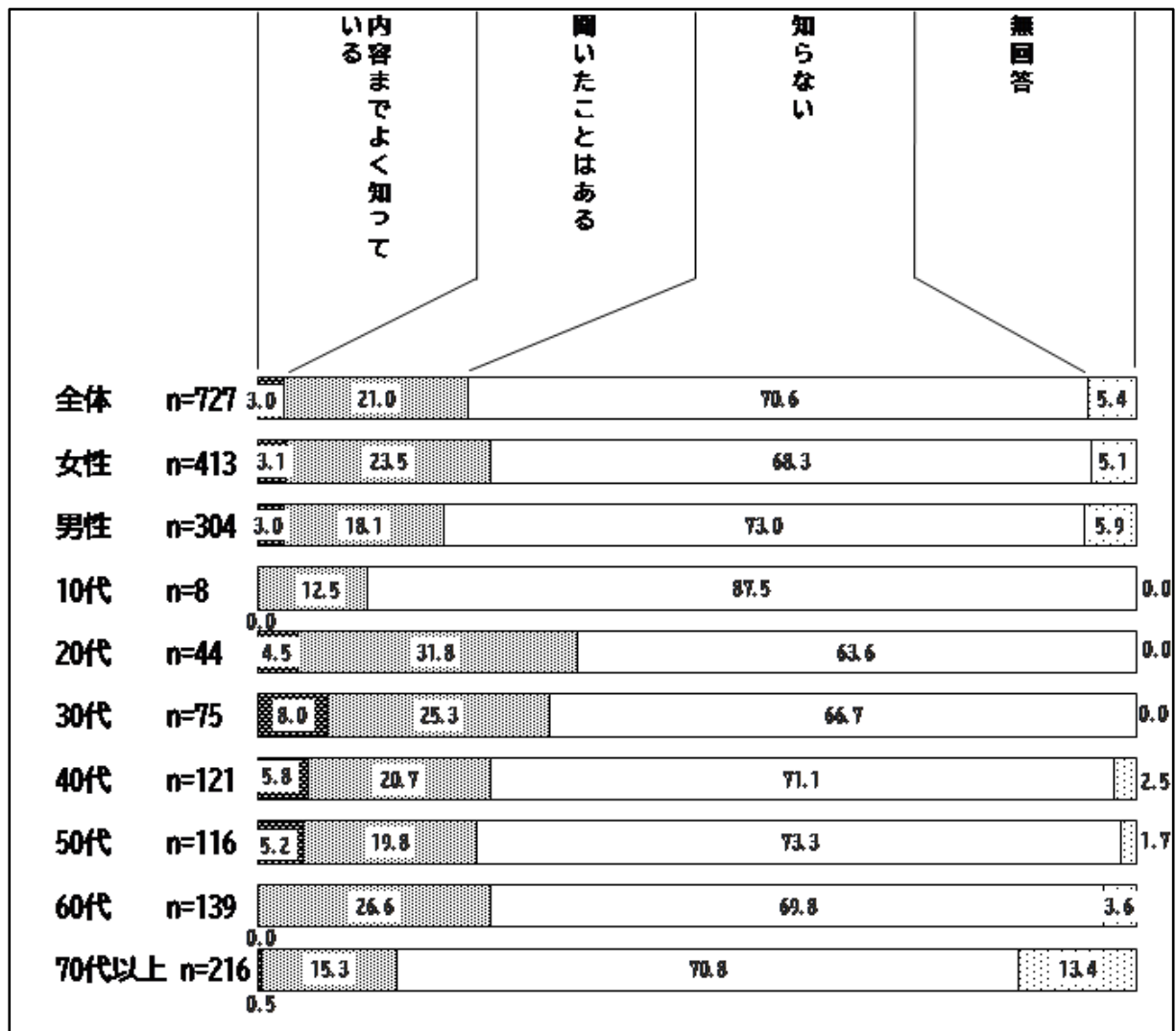
◇性別

「内容までよく知っている」は女性（1.0%）より男性（2.3%）が高く、「聞いたことはある」は女性（11.4%）が男性（8.6%）より高い。「知らない」は女性と男性が同じ割合である（共に82.6%）。

◇年代別

「内容までよく知っている」は、10代（12.5%）を除くどの年代も低く、60代と70代以上ではゼロである。また、「聞いたことはある」は、20代（18.2%）や30代（14.7%）で高くなっている。一方、「知らない」は、60代（87.8%）が最も高く、70代以上（76.9%）が最も低い。

⑤ 福島市パートナーシップ・ファミリーシップ制度



◇全体

「内容までよく知っている」は、3.0%と低く、「聞いたことはある」が21.0%、「知らない」は70.6%である。

◇性別

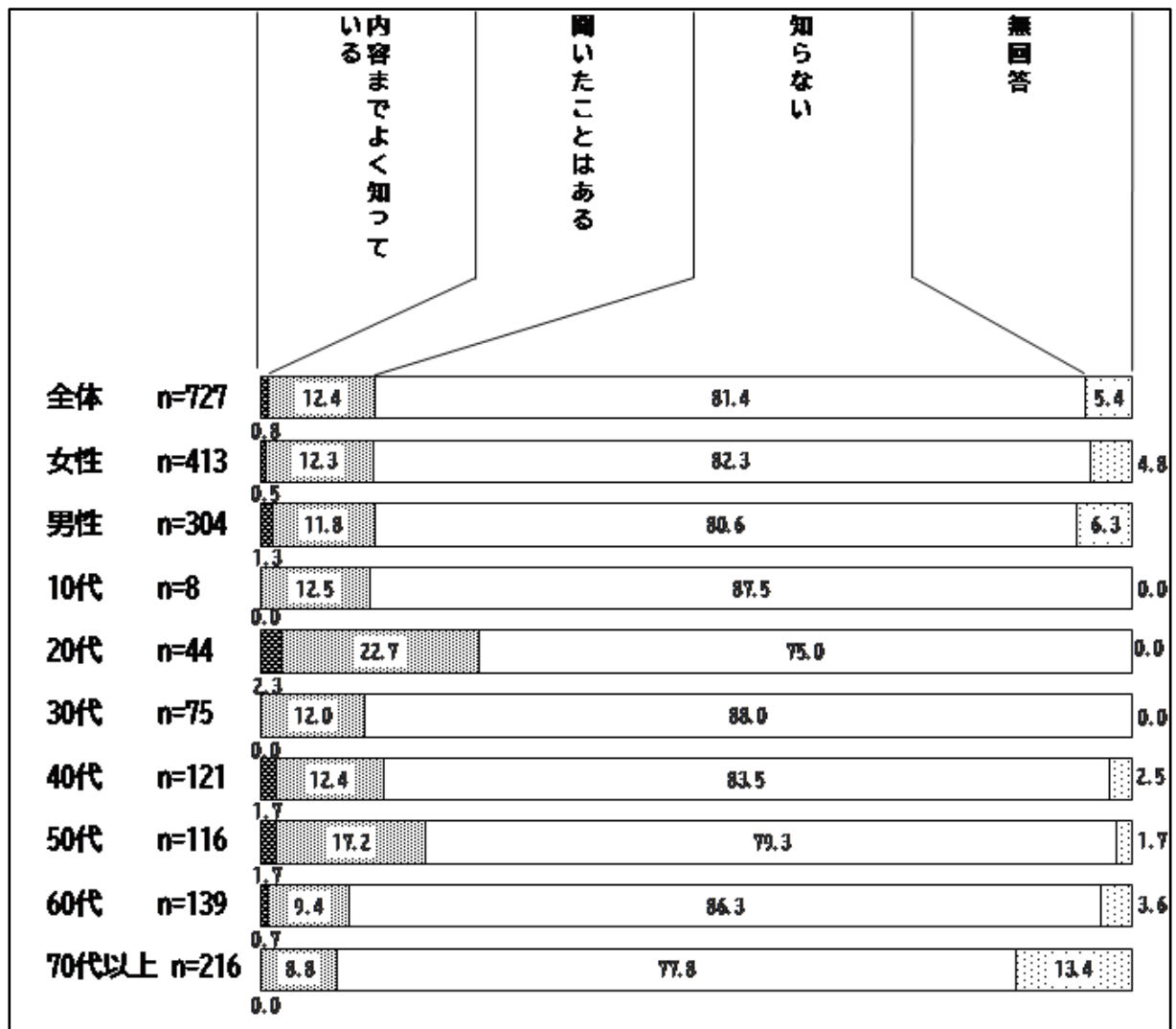
「内容までよく知っている」は女性（3.1%）と男性（3.0%）の割合に大きな差はない。「聞いたことはある」は女性（23.5%）が男性（18.1%）より高く、「知らない」は男性（73.0%）が女性（68.3%）を上回る。

◇年代別

「内容までよく知っている」は、どの年代も低く、10代と60代はゼロである。また、「聞いたことはある」は、20代（31.8%）が高く、30代、40代、60代も2割台を占めている。

一方、「知らない」は、10代（87.5%）が最も高く、20代（63.6%）が最も低い。

⑥ ふくしまさんかく通信



◇全体

「内容までよく知っている」は、0.8%でわずかであり、「聞いたことはある」も12.4%と低い。一方、「知らない」は、81.4%である。

◇性別

いずれの場合も、女性と男性の割合に大きな差はない。

◇年代別

「内容までよく知っている」は、20代と40代から60代の各年代でわずかにみられ、10代と30代、70代以上ではゼロである。また、「聞いたことはある」は、20代（22.7%）が最も高く、以下、50代（17.2%）が続いている。一方、「知らない」は、最も高いのが30代（88.0%）で、最も低いのが20代（75.0%）と、どの年代も7割から8割台を占める。